

大郷町の(有)大郷グリーンファーマーズは、人と自然が共に健康になれる農産物を消費者に届け、農業を通じた資源循環型社会の実現を理念に掲げている。小松菜やねぎ、化学肥料を減らした水稲などを含め、90haを栽培し、環境に配慮した農業に取り組んでいる。

同社は地域興しを兼ねて4人の農業者が、野菜の直売を始めたきっかけで、平成11年に設立した。設立前から資源循環型農業を実践し続け、化学肥料と化学農薬を慣行より5割以上削減する取組等の「環境負荷低減事業活動実施計画」が、令和5年12月に県内初の認定を受けた。

消費者との交流会も開催しており、田植え・稲刈り体験は同社設立前から27年以上続けられ、毎回盛況だ。

令和6年4月には、男女別トイレや更衣室等を完備した新社屋も完成し、

従業員21名のうち半数以上が40代以下であり、活気に溢れている。

同社代表の西塚忠元さんは「新しい拠点から、私たちの取組みや農産物を多くの人に知ってもらいたい」と意気込みを語る。

新社屋を紹介する西塚代表（右）



コマツナを集荷する従業員



【記事提供】大和町農業委員会